

所 信 表 明

二期目のスタートに当たり、改めて私の市政に対する所信を述べさせていただきます。

この度の市長選挙では、これまでの四年間、市議会議員の皆様と一緒にになって進めてきた市政が、市民の皆様に評価していただけたものと受け止めております。

そして、第五次防府市総合計画「輝き！ほうふプラン」をしつかりと前に進めてほしいと、期待していただいたものと考えております。これから四年間、私は不退転の覚悟をもつて、職員の持つ能力を最大限に引き出しながら、職員とともに一丸となり、総合計画を確実に進めてまいります。

この四年間、本市独自の子ども・子育て支援である「ほうふっ子応援パッケージ」や「教育のまち日本一の学びづくり」、高齢者を対象とした「元気アップくらぶ」などの取組を推進してまいりました。

こうした中、まちづくりについては、来年度に供用開始される農林業の知と技の拠点をはじめ、令和六年度に供用を開始する新庁舎の建設、令和七年度の完成を目指す佐波川右岸の広域防災広場など、将来の発展に資する一つひとつの山を乗り越えてまいりました。

そして、これから、国道二号の富海拡幅に続く台道拡幅の促進、県立総合医療センターの建替え、防府北基地東道路の整備、半世紀を超える成長を続ける「防府読売マラソン大会」の開催など、新たな高い山が見えてまいりました。

私は、この高い山を職員と一緒に乗り越えることで、「市民の皆様が誇れる防府市」、「将来、子どもたちが住み続けたい、戻ってきたいと思う防府市」を実現して

いきたいと考えております。

高い山を乗り越えていくのは、「人」です。

庁舎は新しく生まれ変わります。

私は、職員とともに、高い山の頂を目指して進んでいくことにより、新庁舎にふさわしい職員の人材育成を進めてまいりたいと考えております。

そのためには、職員一人ひとりが自己研鑽けんさんに励み、職務遂行能力の向上に努めることはもちろん、ふるさと防府を想い、市民の皆様のために働くという強い意志がなにより大切です。

そして、その強い意志を組織の礎いしづえとしていかなければなりません。

「人は城、人は石垣、人は堀」、これは人材の大切さを表す武田信玄公の言葉でございます。

城をいかすのは、やはり人の力です。この言葉は、まさに私の目指す「日本一の市役所づくり」でございます。

こうした中、行政にあつては、常々申し上げておりますとおり、危機管理が不可欠と考へております。

その中でも特に、市民の皆様の生命と財産、暮らしを守ることが第一であり、これまでも、災害への万全を期した備え、子どもの安全を守るための通学路等の整備や通学用かばんの支給、コロナ禍における経済対策などに全力で取り組んでまいりました。

現在、原油や穀物等の国際価格の高騰や円安の進行が、市民生活や市内経済に影響を及ぼしております。

このような喫緊の課題に対しましても、迅速かつ積極的な対策を講じ、市民の皆様の暮らしを守つてまいる所存でございます。

新たな四年間、「明るく豊かで健やかな防府」の実現のため、そして、「防府がいち

ばん」と思えるふるさとづくりのため、国、県との連携の下、市議会議員の皆様、市民の皆様とともに進んでまいりたいと考えておりますので、御理解と御協力を賜りますよう心からお願い申し上げまして、私の所信表明とさせていただきます。